

第21回 関川流域委員会

今後の進め方(案)について

令和3年3月

北陸地方整備局 高田河川国道事務所

# 1. 今後の進め方（案）

令和2年度

## 第21回流域委員会

- 意見募集・住民説明会結果とその対応について
- 今後の進め方(案)について

令和3年度～

河川整備  
計画変更  
に向けて

※関川本川  
も含めた整  
備計画変更

### 河川整備計画

変更原案  
作成

変更案  
作成

### 流域委員会

- 河川整備計画の整備目標・内容について
- 河川整備計画変更原案について
- 地域住民からの意見聴取方法について
- 河川整備計画変更案について
- 地域意見の募集結果について
- 費用対効果について

流域住民への意見聴取

まちづくり  
検討

関係機関協議・県知事意見聴取

河川整備計画 変更

## 2. まちづくりの検討 ～①地域（町内）分断、②家屋移転等～

- 地域（町内）分断と家屋等移転については、今後、ルート決定後、流域住民の皆様の意見を聞きながら、上越市をはじめとした関係機関と連携して検討を進める。

### ①地域（町内）分断

- ◆ 移動距離の増大（町内会配布物の受け渡しや回覧、小中学校の通学路等）
- ◆ コミュニティ活動への影響等

放水路ルートについて、「放水路計画を検討する際の留意点」に基づき検討した上で、分断感のない空間デザインや新たに創出される一体感のある地域づくり等を流域関係機関と連携しながら検討。

保倉川放水路の概略ルート決定後、新たに創出される良好な水辺空間を核とした一体感のある地域づくり、川づくりを流域住民の皆様とともに関係機関と連携して検討を進める。

### ②家屋等移転

- ◆ 放水路整備に伴う家屋等移転
- ◆ 神社仏閣等への影響

関係機関と連携しながら移転地等の検討。（コミュニティの確保）

保倉川放水路の概略ルート決定後、コミュニティ確保のための地区内移転等も含め、流域住民の皆様とともに上越市をはじめとした関係機関と連携して検討を進める。

### 放水路整備に伴うまちづくりに係る課題

#### 地域分断

- ◆渡河による移動距離の増大
- ◆コミュニティ活動への影響等
- 分断感のないにぎわいを創出する、まちづくり・かわづくり

#### 家屋移転

- ◆放水路整備に伴う家屋等移転
- ◆神社仏閣等への影響
- 地区内移転を含めた検討

#### ハード面

#### 考えられる対応（案）

#### ソフト面

- ①橋梁配置や交流を目的とした人道橋等（立ち話ができる通路・眺望テラス）
- ②放水路沿川の河川公園の整備
- ③上下流を結ぶフットパス（河川交流遊歩道）など

- ①地区内代替地の確保
- ②イベント・にぎわいの場の創出（地域自慢のビュースポット、放水路施設見学）
- ③水辺空間の利活用（水上競技や釣りなどの水面利用）

### 「水害に強いゆたかな地域づくり」を目指した組織の立ち上げ

放水路を軸として周辺地域全体を対象としたまちづくりを考える

コーディネーターがいる場で公平性に配慮した議論を行う

### <保倉川放水路沿川地区検討委員会（仮称）>

委員会は各地区の代表者・企業や農地等の関係機関及び行政をメンバーとして、外部のコーディネーターのもとで議論を重ね、水害から社会・環境・文化・生活を守り、将来にわたり地域の皆様が誇りを持てるまちづくりの基本構想を提言する。